

ONE HUNDRED YEARS OF SOLITUDE

—「ようやく第5世代の場面に辿り着く」—

「Book Club」会員 根本 芳則

英語サークル「Book Club」は英米文学作品の原書を輪読している会です。今輪読している作品は『ONE HUNDRED YEARS OF SOLITUDE』で、日本語のタイトルは『百年の孤独』です。著者は1982年にノーベル文学賞を受賞した「ガブリエル・ガルシア＝マルケス」で、初刊はスペイン語で1967年に出版されました。あらすじは読書会（各学期に5～7回）の中で参加者の方からも頂いた参考資料によりますと、この小説はホセ・アルカディオ・ブエンディアとウルスラ・イグアランを始祖とするブエンディア一族が蜃気楼の村マコンド（架空）を創設し興隆を迎えながらも、やがて滅亡するまでの100年間（7世代）を舞台（実在する地名・地域も含み）として話が展開し、世界各国でベストセラーになり、ラテンアメリカ文学ブームを巻き起こした世界的に評価の高い作品です。日本においても多くの読者を得ております。私にとって骨の折れる作品ですが、私が担当した6月27日の輪読会に於いては会員に助けられ、作品全417頁の内の243頁まで読み進み、特に第5世代の初登場人物と上位世代を含む他の登場人物との関係性を理解する事が出来ました。英語辞書の他に今「Google 翻訳」もあるのですが、味わい深いこの作品を最後まで読み続けるには会員の助けが必要といつも思いながら取り組んでおります。

6月27日の読書会で気になった単語のひとつに、ブエンディア一族の登場人物の言葉「gringos」がありました。事前に電子辞書で調べてみましたが「～s）《俗》《侮蔑》グリンゴー《白人の外国人；中南米で、特に英米人をさす》」とあり、Google 翻訳では「グリンゴ」としか出てきませんでした。前会（6/13）の読書会にあった言葉「The gringos」は「白人野郎」と訳されたので、『侮蔑』の表現であることが解り、ラテンアメリカ人と英米人の登場人物の関係性を改めて感じました。読書会は可能な限り英語ゼミと同じ日に行われており、今回特に27日午前の英語ゼミではイギリスの児童文学「不思議の国のアリス」についての講義があり、その中で高田先生から「ケルト民族、ゲルマン民族、ラテン民族」に関わるお話もあり午後の読書会においてはそれも参考にして会を進めることが出来、有意義な読書会となりました。この長編小説を読み始めたのが令和7年5月の読書会からですが、全417頁を27に区切り各読書会に輪読担当者と共にそれ（16頁前後）を割り当てており、読み終えるのは令和9年度1学期を予定しております。2学期より『Mrs Dalloway』西洋文学でモダニズム時代の分水嶺になった作品に取り掛かる予定です。原書をともに味わいたい方また興味のある方は当「Book Club」の根本（080-1835-3863）にご連絡ください。

放送大学「公開講演会」が開かれました

郡山

死生観の最前線

放送大学客員教授 何 燕生 先生

8月22日(土)、放送大学福島学習センターにおいて、客員教授の何燕生先生による公開講演会が開催され、定員を超える42名の方々が聴講しました。

講演では、有名な映画の1シーンなどを取り上げたり、具体的な事例や写真をもとにしながら、中国などにおける葬儀の考え方を紹介したりして、人々の死の理解や弔いのあり方などを深く考えることができました。また、近年の葬儀の簡素化や家族葬の普及、さらに自然葬志向の広がり、さらには、AIも含めて、現代人がどのように死と向き合い、新たな死生観を形成していくべきかなどについても深く考えさせられる時間となりました。

また、講演会に先立ち、3階図書・視聴覚室において、オープンキャンパスも開催しました。参加した9名は、所長と図書担当の話に熱心に耳を傾けるとともに、終了後には会場に残って、職員との相談会に積極的に参加するなど、放送大学への入学への思いを強くして帰りました。



いわき

水素エネルギーの最新動向とサプライチェーン

放送大学客員教授 石川 友保 先生

8月29日(土)、放送大学いわきサテライトスペースにおいて、客員教授の石川友保先生による公開講演会が開催され、12名の方々が聴講しました。

講演では、水素エネルギーの概要について説明があった後、福島県の水素分野についてのお話があり、「水素大動脈構想」や「水素1%調達宣言」などに福島県が積極的に関与するという最新の動向が示されました。また、福島大学に水素エネルギー総合研究所が設置され、福島県の重要課題の一つである「水素・再エネの導入推進・関連産業集積、水素社会の実現」に貢献する組織についての説明がありました。先生からは、今後の研究課題として、「水素と他のエネルギーの比較や組み合わせ」、「水素分野を対象として、様々な物流・オペレーションズリサーチの研究」が提示されました。講演後は、参加者から活発な質疑がありました。



重要! お知らせ

◆学習センター閉所日について(『利用の手引き』の日程表もご確認ください)

原則として、10月12日以降は 毎週月・火曜日及び祝日が閉所日です。

原則以外の閉所日 10月4日(日)・10月11日(日)・11月4日(水)・11月25日(水)

年末年始の閉所日 12月27日(日)～1月5日(火)



◆通信指導について

通信指導については『学生生活の栞』(学部68ページ以下、大学院73ページ以下)で確認してください。**実施方法は、原則 Web 提出(郵送提出科目のみ郵送提出)**。履修科目の通信指導問題は10月上旬に授業共有ファイル(システムWAKABA⇒授業サポート⇒授業共有ファイル)にアップロードされます。

Web通信指導による提出の場合、**2026年11月5日(木)10時～11月25日(水)17時まで**

郵送による提出の場合、11月11日(水)～11月25日(水)必着です。郵送提出問題が11月5日(木)までに届かなかった場合は大学本部(043-276-5111学生サポートセンター)に連絡してください。

◆学生証・駐車場利用許可証の発行について

福島学習センター・いわきサテライトスペースともに、**10月1日(木)から学生証の発行をいたします**。また、福島学習センターの駐車場を利用する場合についても、『利用の手引』にて確認してください。なお、福島学習センターウェブサイト内の「アクセス」のページから、**駐車場利用許可証交付願がダウンロードできます**。